

第3回

かべ新聞コンテスト

応募総数：148 作品

たくさんのご応募ありがとうございました。

公益財団法人環境清正財団



## 第3回

### かべ新聞コンテスト

#### 最優秀賞

#### 『下水道新聞 特集排せつ物と下水道の歴史』

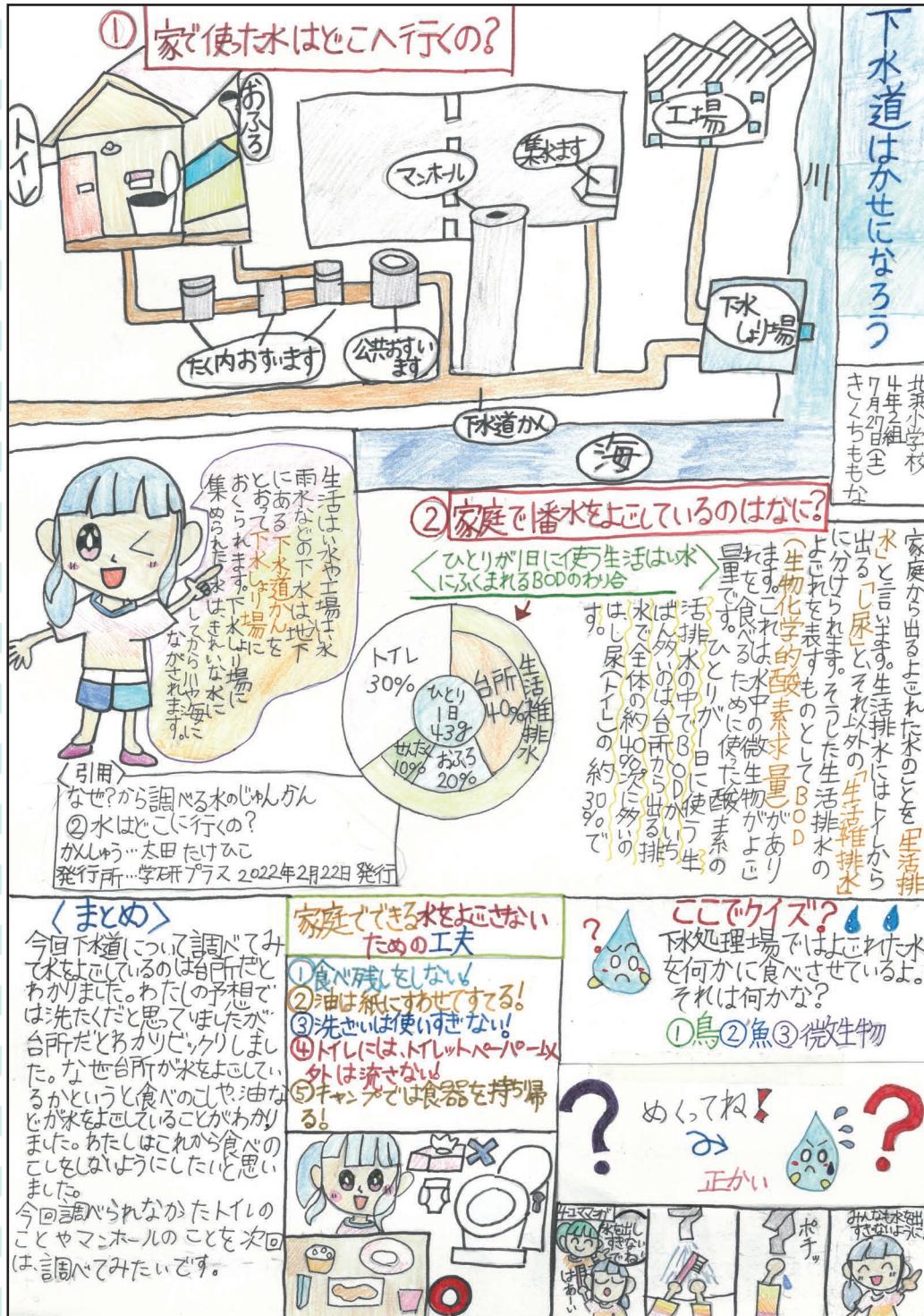
千葉県 柏市立手賀西小学校 5年生

代表 西田 栢子

#### ■審査委員講評

下水道の歴史と役割を漫画でわかりやすく、かつ読者の興味を引くように説明している。自然の物質循環サイクルと下水道の処理システムを比較する手法は秀逸であり、コラムも魅力的に描かれており、最優秀にふさわしい。

東京都市大学 建築都市デザイン学部 教授



## 第3回 かべ新聞コンテスト

### 審査委員会特別賞

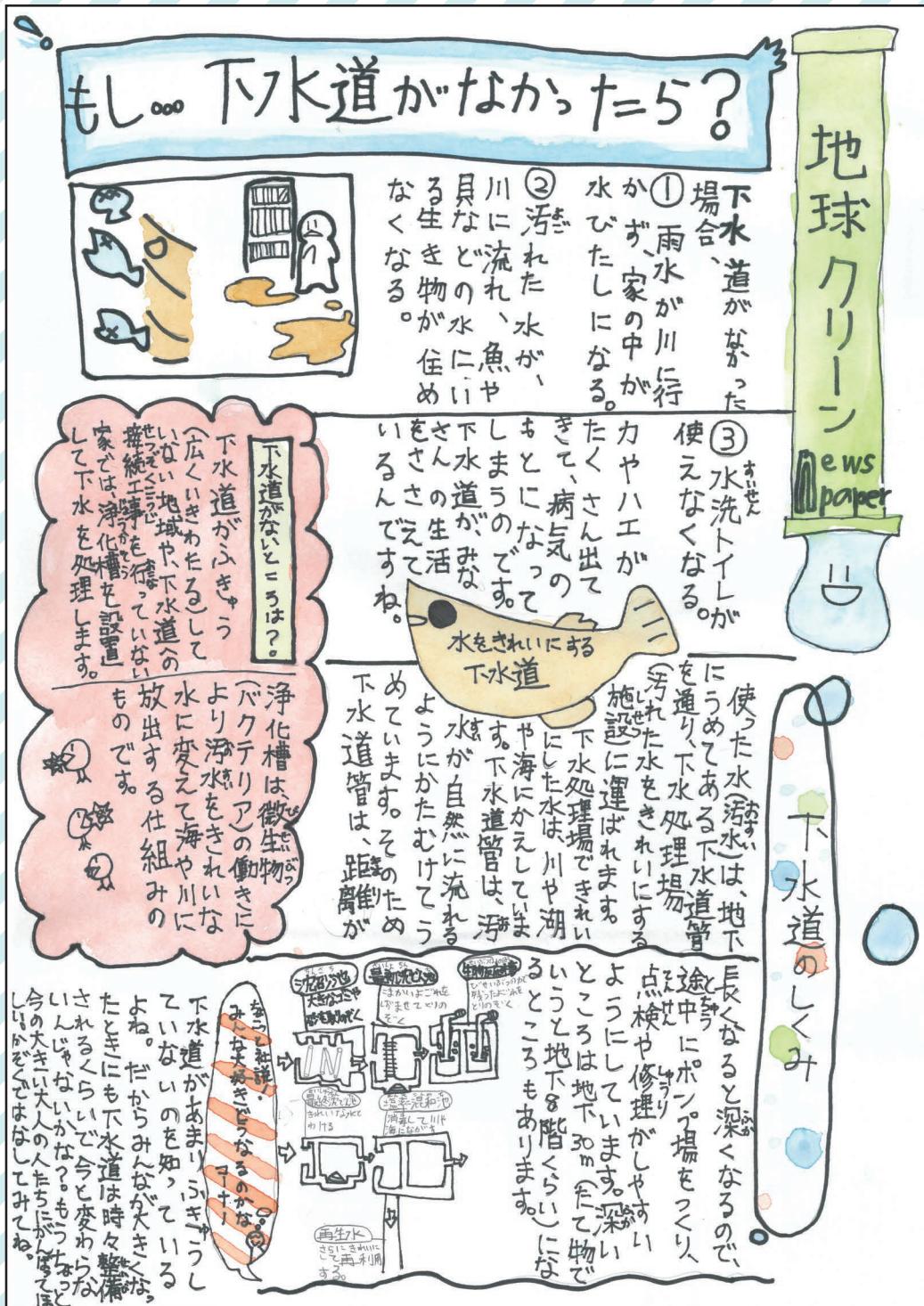
#### 『下水道はかせになろう』

静岡県 浜松市立北浜小学校 4年生  
菊池 桃那

##### ■ 審査委員講評

家庭で一番水を汚しているのは台所であるという、学んでいても見落としがちな事がらを強調して、そのために家庭でできる工夫を示している点に特徴がある。クイズも含んだ、親しみやすい内容とイラストが丁寧に作られていて、優れている。学びを自分のくらしにどう生かしていくか、をまとめに持ってきてることも良い。

東京大学名誉教授 東洋大学名誉教授  
花木 啓祐



第3回

# かべ新聞コンテスト

# 優秀賞

## 『地球クリーン news paper』

千葉県 柏市立富勢小学校 6年生  
深山 陽菜

■ 審查委員講評

深山さんの新聞は、パステルカラーの色でまとめられていてレイアウトが綺麗で全体的に整っていて読みやすい印象です。絵も効果的に使っていて記事の内容もわかりやすくなっています。特に中央の魚のデザインが可愛らしく、目を引くので新聞を手に取って読んでみたくなります。

女子美術大学 洋画研究室 特任助手  
久保田 華布

# 第3回 かべ新聞コンテスト

## 優秀賞

『下水道新聞』

京都府 京都市立藤ノ森小学校 4年生  
高桑 伶和

■ 審查委員講評

どうすれば汚れた水がきれいになるかを、実験しようとの発想が良かったです。下水道に油を流してはいけないことを伝えるのに、油がろかされない写真を使用したこと、紙面の説得力が増しました。全体に、実体験でしか得られない学びが表現されました。

神奈川新聞 クロスメディア営業局 コンテンツプロデュース部



# 第3回 かべ新聞コンテスト

## 優秀賞 『みんなでわくわく下水道新聞』

東京都 町田市立鶴間小学校 5年生  
大久保 由良

### ■ 審査委員講評

三河島汚水処分場の見学や東京都下水道局、同水道局からの水道、下水道について多くの情報を収集し、記事に用いており、取材による情報やインタビューを紙面に上手く配置し読み手に分かりやすいように工夫している。家族団らんの時に環境に配慮した生活習慣を心掛けることを話し合えるようにとの思いを込めて制作していることが伝わる作品である。

公益財団法人環境清正財団 代表理事 伊藤 岩雄

### みんなでわくわく下水道新聞

町田市立鶴間小学校  
小学校5年 大久保由良  
2024.6.9  
「下水道の日」特別号

#### わくわくしちゃう、くらしとげすいどう

「げすいどうとかんきょう」って、なんだかしゃかいいのべんすうみたい。みんなで、たのしく知ってみませんか？

#### これからのはじめ

げすいどうしたりしてくる「あでいい」といあっては、「ご」としてすぐれています。ぎゅつぎゅつしながら、びせいがつこひがいさせてエホルギーカスをつくらせたり、りょうやくメントのさいりょうとして利用できるようになっています。

(ふんこう:日本下水道協会)

#### おがさんにインタビュー

下水道さんがつかえる年うちは、くちうほんといわれています。ほうっておくと、じぶんがほしいったり、つくれてしまい、下水道さんにつちや石がしきこまれてしまい、どううか「かんぱつ」してしまうこともあります。

(ふんこう:日本下水道協会)  
いまのじょうきゅう

(さいとう:下水道がほしいたいだいの) げすいわくではいけないけれど、そんなんにおがさんからねがひいかわらぬ。

(げすいどう) せいかつでつかつたあと、ごくだけばながしていちらのぞい。  
ちどりは、あんまりじらわるがむ。

(めぐみの) やくべくしておとでゆく  
下水の水の公衆すうじょうをながいりするこんかいで、ふみじとつかうものがからむだいてつかわしあうにしていりふね。

#### くらしとげすいどう、みんなでいっしょにかんがえよう！

#### かぞくでよめる、かぞくではなす新聞

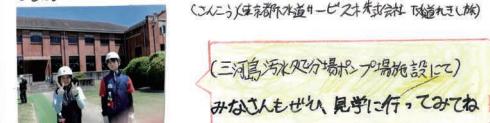
#### 下水道のれきしをあるく

下水道のれきしをあるく  
ひだん日にわくわくしてくる下水道。  
もかじむかしふきたない隊を公衆すうじょうといふかんかえめたからはじまり、いまで(は)水の下をとおす水道というふといハイアはてんしました。

いま下水道のれきしは、150年前、めいじ時代のことです。  
ひとひだん水道でありますように、たくさんの人々が下水道をつくって、それがやがてありました。

そのため、もうきれいに下水道といふ人がえでがくはまつたそうです。  
めいじ(1868年)から明治(1926年)三河島水再生センターがさました。

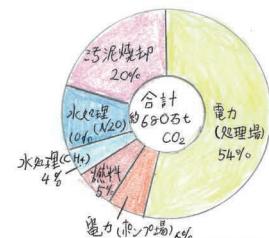
(こんこう:東京都水道局サービス水再生センター)



(三河島汚水処分場がア場施設して)  
みんなもぜひ、見学に行ってみてね！

#### 『まとめ』 どうして水をたいせつにつかわないといけないの？

下水をきれいに保つために  
おつかひいるエイドはいしつされている  
(下水道の運営の実績と排出量の割合)  
ふんこう:日本下水道協会(国土交通省)



水(げすい)のくじかしてまいにちこいれること  
ができます。でも川や海にのこれていく水を、そのままつがっているわけではありません。

土のぬかるから、くちあたたり、  
川の水をだしてきて、のぬききれいのみにしてはいります。

つくりたはは  
(くわくわん)をだしてあつめて、  
まれにしがたりやうがねします。

くわくわん、それいのとくいせんかんなどしてはすされ、あかいでいはんじつがくがくもよいしゃくあります。

くわくわんといふことは、エホルギーのこと、かんきつをつがうて、ことごとくかわいといけないとです!!

#### チャレンジ! サステナブルなこだわりをさかしてみよう！

このしゃかいをけたかでうつくしま、みんなへつぶいていくために、いまからいさう水くわんへの  
たすきつけけていける)サステナブルなじぶんのこだわりをさかしてみましょう！

##### おもしろいこだわり

サステナブルスタイル  
みすにとけいティッシュを  
トイレにながさない

(ふんこう:東京都下水道局)

##### サステナブル フード

あぶらや食べごこちを  
はいすいこうべ流さない  
おもしろいこだわり

##### おもしろいこだわり

サステナブルしクリーン  
そこのそじするともに  
あしづごみを  
はいすいこうにおじなれ

#### へんしゅうこうき(かんそく)

わたしはげすいどうといふて、新聞をかいてみよう、とかかれたときに、だれにでもわくわくすい新聞をつくらうおどいました。せんから、おじいちゃん、おばあちゃん、おじいからうよううさん、のじもまで、みんなにげすいどうといふてほしいとおもったからです。がくとおんがく大きいか新聞をかいて、メールアドレスを大切に守っておけば、できることをかくべらうといいよおもいました。